

## 平成28年6月定例教育委員会会議録

日 時	平成28年6月24日（金） 午後1時30分～午後3時00分
場 所	秦野市役所教育庁舎3階大会議室
出席委員	委員長 望月 國男 委員長職務代理者 高橋 照江 委員 片山 恵一 委員 飯田 文宏 教育長 内田 賢司
欠席委員	なし
委員以外 の出席者	教育部長 水野 和成 生涯学習課長 佐藤 正男 教育部参事 鈴木 健次 図書館館長 石井 勇次 教育総務課長 山口 均 教育総務課課長代理（庶務担当） 守屋 紀子 学校教育課長 遠藤 秀男 教育総務課庶務担当主事補 山口 優真 教育指導課長兼 教育研究所長 佐藤 直樹
傍聴者	2名
会議次第	<p style="text-align: center;"><b>6 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議</b></p> <p>日 時 平成28年6月24日（金） 午後1時30分</p> <p>場 所 秦野市役所教育庁舎3階大会議室</p> <p style="text-align: center;">次 第</p> <p>1 開 会 2 会議録の承認 3 教育長報告及び提案 （1）平成28年7月の開催行事等について （2）平成28年秦野市議会第2回定例会について （3）子ども等に関する事案について （4）第2回いじめを考える児童生徒委員会について （5）平成28年度英語教育にかかわる取組みについて （6）平成28年度教育研究所公開講座の開催について （7）平成28年度はだのっ子アワード事業について （8）ミュージアムさくら塾「秦野市東地区の旧石器時代」について （9）ふれあい通学合宿について （10）はだの史・発見展「丹沢登山昔むかし - 大正～昭和30年代 - 」 について</p>

	<p>(11) 第29回夕暮祭短歌大会について</p> <p>4 議案</p> <p>(1) 議案第26号 学校教育法施行細則の一部を改正することについて</p> <p>(2) 議案第27号 秦野市公民館条例施行規則の一部を改正することについて</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1) 秦野市いじめ問題対策調査委員会への諮問について</p> <p>6 その他</p> <p>(1) 平成28年度園・校における防災訓練（引き取り訓練）の結果について</p> <p>7 閉会</p>
会議資料	別紙のとおり

望月委員長

ただいまから6月の定例教育委員会会議を開催いたします。お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。まず、会議録の承認について、ご意見・ご質問等がございますか。よろしいですか。

それから、秘密会につきましては、もしある場合は、この会が終了後、事務局のほうにお知らせください。

それでは、ないようですので、会議録を承認いたします。

次に、秘密会の取り扱いについてですが、3の「教育長報告及び提案」の(3)子ども等に関する事案については、個人情報等が含まれているため、秘密会での報告としてよろしいでしょうか。

—はい—

望月委員長

よって、(3)は秘密会といたします。

教育長

それでは、教育長の報告及び提案についてお願いいたします。

それでは、資料No.1をご覧いただきたいと思います。7月の開催行事等について説明をいたします。

まず、7月1日ですが、園訪問、つるまきこども園でございます。御都合がつけば御出席をいただければと思います。

7月4日、これも学校訪問、渋沢中学校でございます。同様です。

それから、翌5日、第2回の園長・校長会を実施いたします。

それから、7月6日～9日がふれあい通学合宿、今回は会場が大根公民館となります。9日の午前10時から閉校式を実施する予定であります。

12日と26日は例月のブックスタートでございます。

16日、28年度ふるさと講座の第1回目ということで、7回シリーズのうちの第1回目、「親学」についてのテーマで講義をいただく予定です。

それから、2ページをお開きください。

16日（土）、図書館で16ミリの映写機の技術認定講習会を実施します。

18日（月）、広域連携中学生交流洋上体験事前研修、会場はこども館で行います。

7月20日が終業式です。小・中・幼稚園。

21日、はだの史・発見展ということで、「丹沢登山昔むかし」ということで、桜土手古墳展示館で実施します。

22日（金）、定例の教育委員会会議を予定しております。この日に、終了次第、行政点検・評価の学習会ということで予定をしています。

7月25日～8月18日、鶴巻下部大山灯籠行事ということで、これは昨年、市の指定をしました重要文化財でございます。

26日が定例記者会見です。

次のページ、27日、第40回相模ささら踊り大会、これは会場は厚木の運動公園です。

28日～31日がミュージアムさくら工房「まが玉屋」ということで、例年実施している夏の行事でございます。古墳展示館です。

30日ははだのっ子アワード、ふるさと秦野検定ということで、これも会場が本町小学校と鶴巻小学校、例年のとおり、2カ所でございます。

同じく30日（土）ですが、美術館ワクワク探検ということで、宮永岳彦記念美術館で、これも22回目ということで、今回は「ガラス絵体験教室」というものも行う予定をしています。

私からは以上です。あとは部長、課長から説明をいたします。

それでは、私のほうから、資料No.2の市議会第2回定例会のご報告をさせていただきたいと思えます。

1枚目をご覧いただきたいと思えます。会期は6月6日から6月28日ということで、まだ会期中でございます。議案審議、常任委員会、一般質問ということで、主な日程については終わっておりますので、その経緯につきまして、私のほうからご報告をさせていただければと思えます。

では、1ページをご覧いただきたいと思えます。左上に書いてございますが、文教福祉常任委員会の陳情がございました。中地

教育部長

区教職員組合から、教育の予算、国庫負担、そういったことについての要望が、これは毎年同じようなことが出されているものです。それについての質問、それから、担当課のほうで答えた答弁を掲載させていただいております。これについては、ご覧いただければと思います。

続きまして、3ページをご覧いただきたいと思います。同じく文教福祉常任委員会・所管事務調査ということで、この所管事務調査というのは、予算に計上させていただいております事業について、その進捗等についてご質問を受けるという内容のものでございます。文教福祉常任委員会委員の阿蘇議員、それから、佐藤議員、お二人からご質問がございました。

阿蘇議員については、いじめ、不登校の現状、それから、いじめゼロに向けた対策について、この2点について大きくご質問がございました。答弁のほうはご覧いただきたいと思います。

それから、佐藤文昭議員でございますが、同じような傾向になります。いじめ・不登校対策事業の予算の増額について、それから、対策について、さらには、問題行動対策指導助手について、そして、スクールワーカーの活用についてということで、具体的な内容についてご質問がございました。回答のところは、ご覧いただければと思います。

それでは、4ページからの一般質問のほうに移らせていただきたいと思います。今回、教育に関するご質問は8人から11項目のご質問がございました。順番に質問の要旨等についてご報告させていただきます。

まず、小菅議員でございます。大きく2つ、ご質問がございました。1つは、小中学校の入学式、卒業式でございます。質問の要旨のところにも書いてございますが、幼、小、中の入園式、卒業式、その形式についてどうか。この形式というのは、対面式と一面式、私どもが卒業したころは一面式という形で、今は対面式という形をとっています。その状況がどうかということ。それから、国旗・市旗の掲揚状況、国歌斉唱の状況、それから、卒業証書の書式の形式はどうか。横書き、縦書きということでございます。

それから、さらにはここには書いてございませんが、「ほたるの光」「仰げば尊し」は歌われているのかというようなご質問でございます。

個々に具体的な、今の状況についてお答えをさせていただいております。

それから、親学についてということで、今の取組みはどのようなものか。それから、親学アドバイザーの必要性についてはどう考えているのかというご質問でございます。回答については、ご覧いただければと思います。

それから、加藤議員でございます。教育施策ということで2つご質問がございました。コミュニティ・スクールについて、それから、特色ある授業内容について、さらには、直接というか、教育委員会だけでなく、ほかの市長部局も絡んでいるわけですが、公衆無線LANについてということで、この3点についてご質問がございました。

コミュニティ・スクールについては、実は、文教福祉常任委員会でのメンバーでございます加藤議員でございますが、常任委員会で視察ということで、広島県呉市の土堂小学校を視察されています。その視察を行った中での質問でございます。

まず、コミュニティ・スクールでございますが、今の状況、それから今後の展望、そして、その土堂小学校でのミッションステートメントということをやっているわけですが、その策定は秦野市はどう考えているのか。それから、教員の人事異動についても、そういった異動、コミュニティ・スクールをやる学校に異動希望を出せる、そしてまた、それを反映すると言ったらいいんですか、そういったことはできないのかというようなご質問がございました。

それから、これも呉市の小学校の視察が絡んでいるわけですが、特色ある授業内容ということで、モジュール授業だとか、個に応じた指導、そういったことについて、本市の状況はどうかというご質問でございます。

それから、次にいかせてもらいます。6ページをご覧いただきたいと思います。公衆無線LAN整備についてということで、観光、防災、教育それぞれの整備状況についてのご質問でございます。

次に、今井議員でございますが、スポーツ分野における小・中学校と東海大学との連携についてというご質問でございます。具体的には、連携の状況はどうか、それから、大学との緊密な連携のあり方について、いかがかというようなご質問でございます。

それから、ここには書いてございませんが、部活動の指導者の確保と育成ということについてもご質問がございました。

次に、吉村慶一議員でございます。ニッポン一億総活躍プランについてという大きなタイトルの中で、不登校の子供への支援に

ついて、国のほうから打ち上げられてございます地域未来塾について、この2点についてご質問がございました。

次に、7ページの一番最後になりますが、露木議員でございます。公共施設再配置等についてということで、その中で、教育委員会が行ってございます公立幼稚園運営配置実施計画等についてということでご質問がございました。中身は、保育料の算定方法についてのご質問でございます。

それから、次のページにまたがるわけですが、そこにおいては、みなみがおか幼稚園が公私連携型の幼保連携型こども園という方向で今、検討を進めているわけですが、そのみなみがおか幼稚園について、そういったこども園になっていくことで、民間の運営になると保育料が高くなるのではないかというご質問でございます。

9ページ、和田議員でございますが、学校の整備についてということで、校舎の修繕等について、学校現場の意見をよく聞いて迅速な対応をお願いしたいというようなご質問がございました。これについては、市長のほうからも御答弁をさせていただいているところでございます。

それから、9ページの一番下になりますが、谷議員でございます。公共施設の防災対策についてということで、西中学校の複合化が32年までの目標となっておりますが、それまでの間、必要な修繕ということで、防災上の対策についてどうかというようなご質問でございます。最終的には、できるだけ早く西中の複合化を整備してほしいということが狙いでございます。

最後になりますが、10ページになりますが、木村眞澄議員、学校におけるICT環境の整備ということで、現状の整備状況、今後の整備の方向、それから、その活用についてのご質問がございました。答弁については、先ほども申しましたが、ご覧いただければと思います。

私からは以上です。

教育指導課長

それでは教育指導課、研究所関係について、(4)から(7)まで私のほうで説明させていただきます。

お手元の資料No.3をご覧ください。6月5日に開催されました今年度の「第2回いじめを考える児童生徒委員会」の報告でございます。この日も市P連さんからは、会長さんを初め5名の役員の方々、及び、市内の小中学校から30名の先生方にお集まりをいただきまして、非常に活気あふれる会となっております。

内容ですが、前回もお話しさせていただきましたとおり、重大

事案の発生率の高い9月1日に向けて、未然防止の取組みとしてSOSカードを各中学校区ごとに作成して役立てていこう、そういった趣旨で今回は話し合い活動と作成作業を行っております。この作成したカードは、現在、各中学校で仕上げの段階に入っております、カードは7月20日、終業式に秦野市内全小中学校の児童生徒に配布する予定となっております。

また、各中学校区ごとの話し合いとカード作成の作業がこの日の活動の中心であったわけですが、各中学校の中学生が大変リーダーシップを発揮してくれて、見学をいただいた市P連の会長さんからは、子どもたちの様子を見て、「心があらわれるようだ」というようなお褒めの言葉をいただいております。

次回、第3回は8月18日(水)に鶴巻公民館で健康づくり課と連携して、県の精神保健福祉センターより講師としてお招きしまして、「SOSを発しやすくするためには」というテーマで研修会を予定しております。

続きまして、資料No.4をご覧ください。今年度は英語教育に係る取組みということで、教育指導課が行っている事業で、番号で言いますと、1から裏面の4まで、5につきましては、他課の事業ですが、ここであわせて報告をさせていただきます。

まず、表側に戻っていただいて、1番の外国語指導助手活用事業です。これにつきましては、今年度、業務委託を行っているインタラックからALTの方5名、それから、市が直接依頼しております英語指導協力者1名の合計6名の先生ですが、これにつきましては、実数を含めて昨年度と大きな変更はございません。

続きまして、2ですが、小学校外国語活動授業支援協力者、通称、イングリッシュフレンド派遣事業です。これも上智短大のほうに学生さんの派遣をお願いしている事業です。こちらに関しましても、小学校3、4年生の授業をお願いしているところです。これは御承知のように、2020年、3、4年生で外国語活動が始まるということが見越して、主に3年生の授業を担当していただいております。

続きまして、3のインターナショナルフェスティバルです。今年度は11月5日に開催を予定しています。昨年度は合計163名の方に参加をいただいたわけですが、昨年度と同程度、もしくは、それ以上の規模で開催できるように頑張っていきたいと思っております。

裏側に行ってください、裏面の4になります。中学校英語ロールプレイ授業につきましては、昨年度は、坡州の英語キャンプ

村派遣事業が現地の事情から12月に延期されました。今年は予定どおり7月24日に出発を考えておりまして、既に6月23日に引率教員の委嘱式を終えました。7月2日に事前学習という形でロールプレイの取組みをしていきたいと考えています。先日、ボランティアの方々と打ち合わせがありまして、私も参加させていただいたんですが、皆さん、熱い思いを持って協力いただいておりますので、充実したものになるかと思っております。

また、英語授業の一環として、平成25年度から始めてまいりましたロールプレイの授業ですが、現在、実施していない学校がいくつかございます。これにつきましても、10月以降、順次開催をしていきたいと今、計画を立てているところです。

続きまして、5です。これはほかの課の事業ということですが、

(1) パサデナ姉妹校訪問研修事業です。これにつきましては、当初、平成29年3月に実施を予定していたのですが、現地の事情から、パサデナの友好協会との話し合いで調整をいただいた結果、平成29年1月4日から1月10日の日程で固まっています。小学校から4名の派遣教員を送る予定でございますが、ただ単に外国語教育ということではなくて、現地の教育事情の視察ということも含めての研修にしていきたいと考えておりまして、現在、慎重に派遣者を決定する調査に入っています。

続きまして、(3) 中学生英語スピーチコンテストです。これは表記のとおり、9月18日に開催予定となっております。

(4) 青少年相互交流事業、こちらにつきましては、坡州に行った子どもたちの交流ということなので、このまま実施されれば、予定どおり、たばこ祭りの夜に開催予定となっております。

(5) パサデナ市姉妹校とのスカイキャンプです。今年度は10月21、22日の1泊で予定しております。

続きまして、(6) チャレンジ・イングリッシュキャンプ、こちらも例年どおりの内容で12月10日から11日、表丹沢野外活動センターで予定しているところでございます。

英語関係の取組みについては、以上でございます。

続きまして、資料No.5、今年度の教育研究所の公開授業の開催についてのご案内でございます。今年度は堀川公民館におきまして、横浜税関のほうから講師をお迎えして、薬物乱用教育推進のために、子どもたちにどういうふうに伝えていくかといったことのお話をいただくつもりでございます。既に報道等でも、今年は大変大きく取り上げられている薬物問題です。議会の中で、先ほど部長のほうからも少しお話があったと思うんですが、毎回、薬



物防止の教育というのが取り上げられております。今回はアクティブラーニングの流れもございまして、条件を整えば、麻薬探知犬に来ていただいてデモンストレーションを予定しております。ただ何分、犬も環境に左右されるということもありますので、現在、あくまで予定ということでお聞きください。

続きまして、資料No.6になります。先ほど教育長からもお話しいただいておりましたが、はだのっ子アワードにつきまして、文芸部門、体験活動部門、ふるさと秦野検定部門、3部門を今年度実施したいと思っております。

一部おめくりをいただいて、今年度のふるさと秦野検定につきましては、7月30日（土）、メイン会場は本町小学校、サブ会場が鶴巻小学校ということで、応募の人数によって若干変更があるかもしれませんが、現状としては、本町小、鶴巻小で実施の予定となります。先週、この申込書につきましては、配布をさせていただいております。7月6日を締め切りとしているんですが、毎年、小学校のサマースクールの一環として、力を入れてやっけていただいている学校もございまして、今年度もたくさんの参加を予定しております。

教育指導課のほうからは以上となります。

生涯学習課からは、（8）から（10）までの3件について、ご報告します。

最初に、資料No.7「ミュージアムさくら塾」ですが、これは文化財や歴史文化への市民意識を高めるため、平成18年度から毎年6回シリーズで、桜土手古墳展示館映像室を会場に、考古や歴史、民俗などの専門家による講義を行っています。今年度の第1回目として、6月25日にかながわ考古学財団職員を講師に招き、現在、新東名高速道路建設事業に伴い実施している「蓑毛小林遺跡」の発掘調査結果や周辺遺跡の状況を学びます。

次に、資料の裏面をご覧ください。5月の会議で報告しました「ミュージアム青空レクチャー」の結果についてです。上地区で調査を行い、縄文時代と平安時代の竪穴式住居などが発見された「柳川竹上遺跡」の見学会を5月21日に、かながわ考古学財団と共催して開催しましたが、当日は市内外から192人が集まり、上公民館で映像を用いたミニ講座や発掘現場を見学し、盛況のうちに終了しました。

続きまして、資料No.8をご覧ください。先ほど教育長からも報告がありましたが、平成15年度から大根・広畑小学校の児童を対象に、大根中学校区の幼稚園、小学校、中学校、各PTA、地

元の長寿会や商店会、ボランティア、東海大学が連携して取り組んでいる「ふれあい通学合宿」について、7月6日から9日までの3泊4日で大根公民館で実施します。

参加者は、資料では40人となっていますが、ここで欠席の連絡があり、最終的には39人。内訳は、大根小が26人、広畑小が13人となっています。大根中学校の生徒10人も、学生リーダーとなる東海大学ローバースカウト隊の補佐役として参加します。主な活動は、資料裏面に掲載した「活動スケジュール」のとおり、調理・清掃などの日常生活体験、近所の9家庭へのもらい湯、下大槻団地長寿会と創作活動を通じての異世代交流、東海大駅前商店会の5店舗での職場見学などに取り組んでいきます。また、事前に7月2日には、参加者と保護者、実行委員が一堂に集まり、事前研修会を開催します。

続きまして、資料No.9の「はだの史・発見展」ですが、この事業は、秦野の歴史的過程について、市が所蔵する歴史文化資料などで紹介するもので、毎年3回程度開催しています。今年度の第1回目として、今年から8月11日が国民の祝日「山の日」になることを記念しまして、「丹沢登山昔むかしー大正～昭和30年代ー」をタイトルで、桜土手古墳展示館映像室で7月21日から8月28日まで開催します。

展示資料についてですが、今年3月に秦野山岳会から数多くの貴重な資料の寄贈を受けています。まだ全ての整理が終わっていませんが、関東大震災後から昭和30年代までの丹沢に関する写真をはじめ、絵葉書や書籍、当時の登山用具など約70点を展示していきます。特に登山用具については実際に手に触れ、重さや素材の違いを体験できるコーナーを設けています。さらに、これは非常に貴重な資料だと思いますが、昭和16年、太平洋戦争の開戦の年に撮影された16ミリ映画「丹沢葛葉川本沢遡行」を上映していきます。寄贈を受けた16ミリフィルムを、新たにデジタル化しまして、1日4回程度上映します。

このような貴重な歴史資料を通じて、丹沢のふもとの秦野でどのように近代登山が根付き、発展していったかを広く紹介していきたいと考えています。

また、資料は用意していませんが、秦野市では、この「山の日」に合わせて、丹沢の麓のまちをアピールするといったシティプロモーションという視点で、市民総ぐるみでイベントに取り組んでいくことになっています。こうした中、生涯学習課としては、ただ今説明した取組みのほか、「はだの史・発見展」の第二弾とし

て、丹沢に関する資料を収集する任意団体の「丹沢資料保存会」と連携した展示について検討しています。山の日前後10日間、宮永岳彦記念美術館の市民ギャラリーで開催を計画しています。

内容としては、戦前から丹沢に登り始め、40数年間、丹沢のガイドブックを書き続けた、丹沢登山の第一人者といわれた、故奥野幸道氏が撮影した写真や収集資料などを展示していく考えです。

図書館長

第29回夕暮祭短歌大会についてご報告いたします。資料No.10をお開きいただければと思います。

第29回夕暮短歌大会につきましては、先週土曜日、6月18日、視聴覚室にて表彰式及び講演会を行いました。今回は、60名の参加がありました。作品全体につきましては、応募数が301首、応募地域の内訳については、全国33都道府県、海外から2か国、45首の応募がありました。応募作品数につきましては、昨年度よりも減っていますが、現状等分析しておりますが、昨年は市制60周年、図書館開館30周年という記念の冠の大会ということで非常に応募が多かった。また、今年は4月の応募時期に重なりまして、神奈川県短歌協会の短歌祭が行われたということもありまして、若干減ったのかと思っております。なお、応募の作品数については、一昨年と比べてもほぼ同数の応募があったと感じております。

また、海外からの応募ですが、今回はアメリカから39首、オーストラリアから6首いただいております。アメリカにつきましては、昨年応募のありましたワシントンDCの日本語学校から生徒さんの作品を多数いただきました。委員の皆さんの手元には作品集がありますので、後で、お目通しいただければと思います。

図書館からは以上になります。

望月委員長

それでは、教育長報告に対するご意見、ご質問を伺いたと思いますが、例によって分けたいと思います。(1)、それから、議会の(2)、(1)(2)を一括して、(3)は秘密会になります。それが終わりましたら(4)から(10)を一括して行います。それでは、開催行事、あるいは、議会などの質問、ご意見などありますか。

飯田委員

4ページの小中学校の入学式、卒業式についてなんですけれども、私も数年、西中学校の入学式、卒業式に出させていただいておりますが、西中は、一面式というんですか、厳粛な形でやられているんですが、各学校いろいろあると思うんですが、その形式とか運営、形式というか、式の内容というのは最終的には校長先

教育部長	<p>生がお決めになるんですか。</p> <p>入学式、卒業式は儀礼的行事という位置づけでございます。学校行事という位置づけになりますので、最終的に決めるのは校長の権限ということになります。</p>
飯田委員 望月委員長	<p>はい、わかりました。ありがとうございます。</p> <p>小菅議員さんの、「各園校は学習指導要領や県教育委員会からの通知等に基づいて儀式的行事を行っている。各園校の主体性を尊重したいと考えているが、儀式的行事の現状について教育委員会会議で取り上げていきたい」、これはどういう意味ですか。</p>
教育部長	<p>まず1つは、議会報告は、教育委員会議に報告をさせてもらっております。それが1つです。</p> <p>また、今回の小菅議員の質問については、具体的に細かく質問されています。そういったときに、詳しく教育委員会議に報告し、現状を知っていただきたい、そういう意味合いでございます。</p>
望月委員長	<p>そういうことであれば理解できました。</p> <p>ほかいかがでしょうか。</p>
片山委員	<p>片山委員。</p> <p>1ページ目にタブレットの導入ということを書かれているんですが、タブレット、今年中に3台整備して、最終的にはタブレットで何をしようとしているのか教えてください。</p>
教育部長	<p>まず、タブレット化の進め方でございますが、御承知のとおり、各学校にはパソコン教室がございます。そこに41、2台でしたか、あって、授業の中で子どもたちがそこへ移動して、パソコンの使い方から始まって、いろんな調べ学習をするという形が今の中身でございます。</p>
望月委員長	<p>今度、タブレット化にしますと、そこに置く必要がなくなります。置いていてもいいですけども、それ以外の学校外に出たときの学習だとか、それから、自分たちの教室に戻ったときの学習だとか、そういった中で、幅広く調べ学習ができたり、それから、電子掲示板を使った双方向でのやり取りだとか、いろんな発表だとか、いろんな学習の姿の提示ができるということを狙いとさせていただいております。そういったところで計画的に順次進めていきたいというものでございます。</p>
高橋委員	<p>ほかにどうですか。</p> <p>高橋委員。</p> <p>小菅議員の質問の中で、親学について質問されていますね。家庭教育の必要性というのが叫ばれている中で、親学アドバイザーの必要性ということを言われているんですが、調査研究を行うと</p>

	<p>お答えされていますが、実際、資格を取られた方はいらっしゃるのでしょうか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>親学アドバイザーの資格は、親学推進協会が認定する民間資格ですが、公立の保育園や幼稚園などの関係者が資格を取得していると聞いていません。</p>
<p>望月委員長</p>	<p>親学推進協議会は、明星大学の高橋史朗先生が理事長をやられているのです。実は、私が教育委員会事務局にいるときに、高橋理事長に、幼小中の先生を対象に文化会館で講演してもらったことがありました。高橋理事長が唱える「親学」の考え方に共感して、超党派の国会議員などにより親学推進議員連盟が設立されている。安倍総理や前文部科学大臣の下村さんも参加しているんじゃないかと思います。埼玉県では親学アドバイザーの資格を有する割合は多いですね。これは、多分、高橋先生が埼玉出身ということもあるのではと思います。それから、比較的多いのが千葉県ですが、神奈川県ではそういうことは聞いていないですね。課長、何か聞いていますか。</p>
<p>生涯学習課長 教育長 望月委員長 教育長</p>	<p>いや、そこまでは把握していません。      神奈川ではまだ、今おっしゃるようにはありません。      まだですね。</p>
	<p>この質問の中に書いていないんですけど、キラキラネームをまた披露すると、今回の場合には、「センソウ」とか、子どもさんの名前に。キラキラネームというのは、子どもにそういう名前をつけている方が相当数おありになる、全国的にです。そういうものも、親学というものできちんとしなないといけないんじゃないのかという、そういう思いを言っているわけですね。80種類ぐらいのものを全部用意されて、正直、私も「センソウ」という名前はびっくりしました。現にそういう名前の子がいるんだそうです。戸籍上は許されるわけですが、受付せざるを得ないですね。ちょっと心配するような部分も含めて、そういうことを言っていました。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>よろしいですか。先ほどの教育長行事報告の中で、「ふるさと講座」の説明がありましたが、7月12日に開催する第1回目は、本市出身で親学推進協会の元専務理事を講師に迎え、親学について学んでいきます。</p>
<p>望月委員長</p>	<p>親として当たり前のことを当たり前にしてしまうということでしょうね、簡単に言えば。例えば、子どもには子守歌を聞かせながら母乳を与えようとか、早寝・早起き・朝ごはんの奨励で、朝ごはんを必ず食べさせようとか、幾つかのこういう項目があつて、これを見ると、当たり前のことを当たり前でできない親が多いので、</p>

それを親のほうに学んでもらおう、身につけてほしいということで、共感・共鳴できることがたくさんあるんじゃないかなという気がしますね。

ほかにどうですか。

飯田委員

飯田委員。

親学と関係するかちょっとあれですけども。佐藤議員のいじめ巡回教育相談員というの、私、初めて聞くので、内容とどういうことを相談されるのかとか、その件数とかを教えていただければと思います。

教育指導課長

いじめ巡回教育相談は、臨床心理士をお願いして、各学校から発達に特性のお子さんの対応ですとか、いじめの被害に遭いそうなお子さんですとか、そういった方々への支援、または、保護者に対する対応ですとか、そういった心理的な御助言をいただく制度で、年間30回派遣する制度でございます。

以上でございます。

望月委員長

ほかにどうですか。

吉村議員の地域未来塾というのが7ページにあって、学習が遅れがちな中学生等に向けた補習授業ということですね。これも非常に大事なことだろうと思います。市長部局で生活福祉課が中心になってやっている、いわゆる生活困窮者の自立支援の事業があるんですね。それは退職された校長さんなんかを中心として、秦野のこども館と大根の連絡所の2カ所でやっています。私は今の格差社会とかということはいろいろ言われているんですが、こういうような活動の姿を直接目で見て、耳で聞いてみると、なるほどなということがあるわけですね。ですから、ぜひ時間等があれば見に行ってくださいとよろしいのではないかと思います。

それから、加藤議員が本市のコミュニティ・スクールの状況と展望について質問されています。実は昨日、西中学校で第1回目の学校運営協議会が開かれました。私も参加させていただきました。直感的に見て、いい雰囲気だな、いい船出ができたなと思いました。こういうようなメンバーであれば、これから長い航海も充実したものになるんじゃないかなと、そんな印象を持ちました。実は、これは本市が初めてで、中地区でも初めてであるがゆえに、指導の中心として教育委員会が周到な準備をされたというようなことがあろうと思います。それから、学校長も相当熱心に取り組んでいた。そういう教育委員会と学校がお互いに同じような考え方で取り組まれたということが感じ取れたなと思います。

今、国では学校を核とした地域力の向上というんですか、ある

いは、学校を核とした地方の創生ということを目指しているわけ  
であります。ですから、こういうコミュニティ・スクールという  
のは地域の人たちと一緒に学校づくりをすることによって、学校  
を核として地域が活性化するというんですか、そういうふうなこ  
とになると、学校もよかったし、地域もよかった、あるいは、他  
の地域にもよい風を吹かせることができるんだ、トリプルウィン  
というものになっていくことを願っていますが、今までの諸準備  
等について、教育委員会では大変頑張ったんだなということを改  
めて皆様にも報告をさせていただきたいと思えます。

ほかにありませんか。

ーなしー

望月委員長

それでは、(4)から(10)まではいかがでしょう。何か  
質問、ご意見等はありませんか。

片山委員。

片山委員

資料No.3の「いじめを考える児童生徒委員会」、これは非常に  
子どもたちがこんなことを考えて、いろんな意見を出し合っ  
ていきたいという、それをまとめて皆さんの前で話すんだと、ま  
とめてメッセージにするというのは非常にいいと思うんです。ち  
よっと読ませていただくと、目標が余り具体的でないものがち  
よっと多いような、例えば「メッセージを遠回しに言う」、渋沢  
なんかは「いじめられている人は相談する勇気がもてるように  
する」、これは何を基準に持ったか持たないか、わかりにくい  
ようなものでなくて、もうちょっとわかりやすい具体的な目  
標を持てるようなものに導くことがあったほうがよかつたの  
かなと、ちょっと勝手に思ったんです。

教育指導課長

ご指摘のように、子どもたちが自分たちで考えるということで、  
中学校3年生と小学校6年生と同じテーブルでお話をしますの  
で、なかなか意見をまとめるということが正直難しいです。教育  
指導課のほうでは指導主事がそれぞれ入りました。それから、各  
学校から先生方に来ていただきましたので、そういった援助も  
いただきながら、ポスターセッションのような形でまとめていま  
しました。

先ほどちょっとお話を最後までさせていただいたんですが、最終  
的には、中学校のリーダーシップをとれる子たちがまとめるとい  
う作業で、どうしても2時間足らずの作業でなかなか最後までク  
ローズしないということもございますので、来年度以降の課題とは  
しております。

以上でございます。

望月委員長

よろしいでしょうか。  
ほかにいかがでしょうか。

片山委員

もう一ついいですか。

望月委員長

片山委員。

片山委員

資料のNo.4ですが、お一人が指導協力者という方、あとは委託事業というか会社の方なんです、この方はずっと秦野市の教育に協力していただいているということで依頼されている方なんでしょうか。

教育指導課長

大分前からさまざまな英語活動の中で、先ほど幾つかお話しさせていただいたインターナショナルフェスティバルですとか、パサデナの事業ですとか、そういうところで英語の関係でいろいろご協力をいただいている市民の方と伺っています。

以上です。

片山委員

会社ではなくて、いろいろなことを知っている方ということでこの方が入っているというふうに理解してよろしいですか。

望月委員長

はい。この方は日本語と英語の両方に通じていて、それから、教え方も大変丁寧で、小学生にはちょうど向いていると思います。

片山委員

それで小学校なんですね。

教育長

平成18年のもっと前からやっておられませんでしたか？

望月委員長

もう五、六年、小学校に英語が導入し始めたころと記憶しています。

高橋委員

10年近くないですか。

教育長

10年以上やっていらっしゃいますよね。

望月委員長

私もしょっちゅうお会いしていますが、英語のスピーチコンテストの審査員を何回かやっています。

インタラックというのは、これは派遣会社ですね。ですから、多くの外国人がこういうふうに来ている。今、3年ごとに、契約でやっているんです。いろいろ派遣会社がありますが、インタラックが大きくて、学校からの信用もあります。このインタラックの評価は高いですね。

パサデナのほうですが、私も友好協会として絡んでいるんですが、当初は、中学生、高校生が行くときは3月にしていました。ところが、3月はテキサスの統一テストという重要なテストがあり、受け入れが無理であるということで、向こうとのやり取りをしながら、1月4日に出発して向こうに1月4日に着きます。そうすると、こちらのほうでは冬休みで、向こうは既に授業が始まっているということで、1月4日になりました。

教育長

小学校ですから担任を持っていますよね。長期間空けるという



望月委員長

のは大変難しい。

それから、(5)のスカイプですが、これもほぼ煮詰まりまして、10月21日、向こうも大丈夫だろうということで、時差が違いますが、こちらは夜の11時にやって、向こうは朝の8時、それでやり取りしていますが、非常に子どもたちが楽しんでいきます。スカイプが起爆剤になって、トンプソン中学校では、秦野フレンドクラブというクラブができて、それで、部員は30人と私は聞いていますが、秦野のことを勉強したり、日本のことを勉強したりするそういうクラブ活動ができたということを通じて、担当指導者からメールが入っています。ですから、今年度で3回目ですが、着実に実りつつあるのかなという感じがします。

このキャンプには、来年1月に参加する中学生2名、高校生4名と、派遣する先生方にも、このころになると決まりますので、表丹沢野外活動センターに集まっていただいて、やり取りをしてみます。

高橋委員

ほかにいかがですか。高橋委員。

ロールプレイ授業について教えていただきたいんですが、この前のロールプレイのときに見させていただいたのは、こういう授業というのは、地域の協力者の協力なしにはできない。大変能力もあるし、大変熱意のある方たちが協力をしていらっしゃるのとは大変ありがたいことだと痛感したんですが、あれは何パターンかあるんでしょうか。ロールプレイの、あのときは税関か何かの場面設定で、ツーリストになってとかお買い物をするとか、そういうような設定だったんですけど、それは何パターンかの授業があるんでしょうか。

教育指導課長

基本的には、坡州の場合にはやはり税関を通過して、向こうへ行って買い物をするというような一つのパターン化されたものでやっておりますので、坡州に関しては一つのパターンで何年もやっていると考えています。ただ、ほかの中学校に行く場合に、ほかの中学校の先生たちと打ち合わせしている中で多少変化することはあるかと思いますが、基本的には、私が最初に大根中で平成24年でしたか、最初にやったときには、やはり坡州と同じような形で、海外に行く、税関を通過して向こうでお土産を買うという一つのパターンをずっとしております。

以上でございます。

望月委員長

一度見に行った？ 渋沢中？

高橋委員

渋沢中に行ったんです。あのときは、協力者の方も、生徒ってさまざまですね、英語能力が。それを一応把握して、難しいで

望月委員長

すよね。会話の中からこの子はどのぐらいまで話せるかということ  
を把握して質問するというのが大変難しいと思うので、やっぱり  
なれた方たちの協力なしにはできない事業かなと思います。大変  
ありがたいですね。参加された方が一生懸命で、その熱意にび  
っくりしました。

ほかにどうですか。

飯田委員

飯田委員。

資料No.6のはだのっ子アワードの件ですが、終わった後、こう  
いう問題が出されましたというのを私たちが見る機会というの  
はあるんですか。

教育指導課長

過去の問題をくださいと窓口に来られた方にはお渡しをしてい  
ます。現在検討中なんです、今、飯田委員が言われたように、  
大人の方もやっていただいても私はいいのかなと考えていまし  
て、実は、毎年、新採用研修ではこのミニチュア版を新採用の教  
員にやらせていて、比較的熱心に取り組んでいる様子が見受けら  
れましたので、今年は教育研究所のほうの、来月、研究発表会  
の場で先生方に来ていただいたときに、少しそういった場面も設  
けようかなとは企画しております。

以上です。

望月委員長

私もやってみました。大変恥ずかしい思いをしましたがけれども、  
やってみるとおもしろいかもしれないですね。

ほかにどうですか。片山委員。

片山委員

今に関してですけれども、小中学校は強制とは言わないです  
けれども、参加してくださいというメッセージは出しているんで  
したか。

教育指導課長

強制ということは特には。

片山委員

できないですね。

教育指導課長

はい。ですので、チラシを全児童生徒に配って参加を呼びかけ  
る。ただ、先ほどちょっと説明の中で触れさせていただいたとお  
り、小学校では一部、夏のサマースクールみたいな形で講座を設  
けて何年もやっている実例もございますので、そういう機会を設  
けて、例えば、先生方のロコミというのは非常に大きいと思いま  
すので、それで参加率が上がっていくという現状はあります。

片山委員

校長先生の考え方次第ということですか。

教育指導課長

考え方というか、校長先生方、特に本町小、鶴巻小、南小は、  
前向きに取り組んでいただいておりますので、そういった講座に  
もすぐに反映させていただいております。

片山委員

非常にいいことだと思うので、一生懸命やっておられたらいい

<p>教育指導課長</p>	<p>かなと。そのときなんですけど、出題元を見て気になったんですけど、配布なしというものから出す、あと、元の中学校の資料集から出すというのは、ちょっとこれ、間違ってるんじゃないかなと思うんですけど、いかがですか。現在渡しているものとか売っているものというのは、ちょっとわからないですけど、少なくとも元中学校社会科資料集から出すというのは、やめたほうがよろしいような気がするんですけど。部数はあるけども、皆さん持ってませんよねというものから出して、これを出題元にするというのは、ちょっとやっぱりやめたほうがいいような気がします。</p> <p>私のほうで担当の者と話をさせていただいて、今のお考えが生かせるような形で検討したいと思います。</p>
<p>教育部長</p>	<p>「私たちの秦野」、元と書いてあるんですが、そもそもこの本は、資料集でつくってあるんですが、それを年によって施設の名称が変更したり、変わったところが出てきます。だから、その都度変えているんですね。そうすると、古いやつが大方同じなんですけれども、一部変更になって更新されています。そういった意味での「元」いうふうに捉えていただければと思います。</p>
<p>片山委員</p>	<p>大学入試で、元の教科書、古い教科書は使わないとなっているんです。内容は同じなんです。それと同じで、やっぱり書かないほうがいいのかとちょっと思いました。内容が同じなのはわかります。</p>
<p>望月委員長</p>	<p>ほかにどうですか。</p> <p>図書館長、夕暮祭短歌大会の作品集を、昨日読んできたんですが、後になってずっと応募者が、ワシントンDC、ワシントンDCと続いていました。それで、今、説明を聞いてよくわかったんですが、何かその先生は秦野にご関係があるのか、何かこれに応募する動機、生徒にできるだけ勧める関係、何かそういう背景はわかりますか。</p>
<p>図書館長</p>	<p>今、委員長からご質問のありましたワシントンDCの日本語学校ですが、昨年は13首応募がありまして、今年もメールで来まして、担当の先生だけでなく学校長からもメールが来まして、校長先生は日本人の方で、細かいいきさつはまだわかってはいないのが正直なところです。ただ、応募いただいた生徒さんを見ますと、日本語学校ということで、向こうに住んでいる日本人の方、また、お父さん、お母さんどちらかが日本の方で、結婚されて住まわれている方、全く日本とは関係なくて日本語を勉強されている方、色々な方からの応募が来ています。ただ、校長先生からは、佳作について、是非、学校から生徒さんに賞状を渡したいという</p>

片山委員

ことだったので、昨日、賞状等を送りました。また、住所が間違えなければ、また後で、結果を連絡いただけたらと思いますので、どういう状況か調べたいと思います。

教育指導課長

今年の公開講座についてですけれども、去年は何名ぐらいの方が参加されて、そのうちの一般の市民ってどのくらいの方でしたか。

望月委員長

正確に把握してございませんので、確認します。申し訳ございません。

飯田委員

ほかにどうですか。今年はかなり集まったんですね、おもしろいですね。

生涯学習課長

ちょっと確認ですけれども、資料No.9の山の日記念イベントですが、16ミリ映画の上映というのは、展示期間中は毎日上映するのですか。

飯田委員

期間中、1日4回程度上映するほか、見学者の希望に応じて対応していきます。

生涯学習課長  
教育長

会期は7月21日から8月28日ですね。

はい。

資料の「旧尊仏小屋」の写真を見ると、塔ノ岳山頂に木がまだこの当時、昭和13年ですから、生えていますね。今はこの辺に木なんて何もないですよ。

望月委員長

1938年は昭和13年ですね。尊仏山荘がこういう小屋だったんですね。

教育長

向こう側に木が生えているということは、もっと緑豊かだったんですね。今は何もないですよ。

望月委員長

ほかにどうでしょうか。

ーなしー

望月委員長

それでは、次に議案に入りたいと思いますが、本定例会には2件の議案が提出されています。議案第26号 学校教育法施行規則の一部を改正することについての説明をお願いいたします。

学校教育課長

それでは、お手元の議案第26号をご覧ください。

ここの提案理由にもございますとおり、上位法改正に伴いまして、2点の改正と、あわせて字句の整理等を行うものでございます。

具体的な改正内容につきましては、3枚目以降、新旧対照表がございます。こちらをご覧くださいと思います。A4の横長です。このアンダーライン部分が改正する部分になります。

恐れ入ります。最初に2ページ目の第6条をお開きいただきたいと思います。区域外就学の関係です。これにつきましては、学

学校教育法の一部改正によりまして、学校の種類として、義務教育諸学校が新たに規定されました。これに伴いまして、本条例で規定をしています区域外就学の届出を要する学校として、これを追加するものでございます。

それから、恐れ入ります。3ページ、その次のページになりますが、一番下の12条をご覧いただきたいと思っております。これにつきましては、学校教育法の施行規則におきまして、これまで就学義務の猶予、免除願い出手続きにつきまして、小学校については第42条、中学校につきましては第55条の準用規定で、それぞれ別に定められておりました。改正によりまして、第34条ということで、小中統合して規定されたことによりまして、本条で引用している条文に移動が生じたため改正するものです。

そのほかの改正部分でございますけれども、全庁的な条文規定方法に合わせるために通知書等の後に様式番号を追加するということとあわせて、字句を整理させていただいたものでございます。

施行日につきましては、交付の日からとしております。

御議決を賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

望月委員長

ご意見、ご質問ございますか。

これは学校教育法の第1条、いわゆる義務教育学校に入ったということに伴って必要な部分を全部変えるということですね。

よろしいですか。

それでは、議案第26号 学校教育法施行細則の一部を改正することについて、議案のとおり可決することにご異議ございませんか。

—異議なし—

望月委員長

よって、議案第26号は原案のとおり可決されました。

続きまして、議案第27号、秦野市公民館条例施行規則の一部を改正することについての説明をお願いいたします。

生涯学習課長

ご承知のとおり、現在、全庁的に公共施設の使用料見直しに取り組んでいますが、その中で、中学生以下の個人利用の無料化も検討されています。そこで、昨年度に引き続きまして、無料化の影響や課題を検証するため、夏休み期間といった期間限定でカルチャーパークの総合体育館や水泳プール、大根公園温水プール、そして、公民館卓球台利用の無料化について実証実験を実施することになりました。

これに伴い、公民館の卓球利用に係る使用料の免除特例措置を講じるため、公民館条例施行規則を改正するものです。

望月委員長

改正内容としましては、お手元の新旧対照表にあるとおり、中学生以下の者が7月1日から8月31日までの間、個人で卓球台を使用するときは、その使用料を免除するというを、規則の附則に追加するもので、施行日は7月1日からとするものです

それでは、ご質問、ご意見ございますか。

ーなしー

望月委員長

それでは、議案第27号 秦野市公民館条例施行規則の一部を改正することについて、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

ー異議なしー

望月委員長

よって、議案第27号は原案のとおり可決されました。

次に、協議事項に入ります。

協議事項(1) 秦野市いじめ問題対策調査委員会への諮問についての説明をお願いいたします。

教育指導課長

それでは、協議事項(1) 秦野市いじめ問題対策調査委員会への諮問について、よろしく申し上げます。資料をご覧ください。

昨年6月、いじめ防止対策推進法に基づく教育委員会の附属の委員会としまして、秦野市いじめ問題対策調査委員会が設置されました。その中で、所管内容につきまして、推進法第3条に書かれているのですが、内容としましては、実効的な対策について調査、審議し、または意見を述べるとともに、法第28条第2項に規定する重大事態に対して調査、指示する内容となっています。

御承知のように、昨年度は重大事態の報告がございませんでしたので、この調査委員会の中では、秦野市のいじめ対策の取組みを御理解いただいた1年間だったということです。

今年度もこのまま重大事態が起こらなければ、実効的な対策について調査、審議していくことになるわけですが、実は、昨年度末の第3回の委員会の中で、予算編成に間に合う時期までに調査委員会の意見が反映され、それを29年度の取組みに生きるような形をとりたいという意向がございましたので、今回、そういった趣旨をくみまして、諮問という形をとりたいと考えております。

現在のところ、諮問予定内容につきましては、(1)から(3)、かなり幅の広いものになっておりますが、方向性として、特性がある子どもたちへのいじめ、こういった問題の支援、もしくは対策ということが今現在行われています。

最終的には、本日いただきましたご意見を反映した形で、次回、7月の教育委員会会議で議案として提出したいと考えております。

望月委員長

以上です。よろしく願いいたします。  
それでは、ご質問、ご意見ございますか。  
ーなしー

望月委員長

それでは次に、その他に入ります。

教育総務課長

(1) 平成28年度園・校における防災訓練(引き取り訓練)の結果についての説明をお願いいたします。

それでは、お配りをさせていただきましたその他1という資料をご覧ください。引き取り訓練の実施の結果でございます。

28年6月1日、鶴巻地区については、中学校区については6月2日ですが、訓練を実施した結果でございます。幼小中、こども園を含めまして36の園校、参加者は1万3,615人。引き取りの児童生徒につきましては、1万2,885人、730人が一時保護ということでの状況でございました。例年どおりでございますが、どうしても中学校で688人、約17%ほど一時保護ということで、引き取りも含めてそういう現状でございます。

3番で主な意見ということで、引き取り名簿を学校のほうで備えているわけですが、そういったものに記載のない方が引き取りに来られるというケースがございますので、そういった部分の名簿作成の徹底というご意見。

それと、天候等で、校庭でやることが多いんですが、教室等、場所を変えて訓練をする必要があるんじゃないかという部分。

それと、例年なんですけど、今年は保護者等、比較的意識が高まっているという状況になってきてはいるんですが、まだまだ低い方が見られるというご意見。

また、周辺の市民の方からは、車で迎えに来ているということで、周辺道路の混雑ですとか、教職員の中でも適していない服装ですとか、ヘルメットの不着用ということがあるというご指摘、ご意見がございました。

この事業は25年から6月に実施をしてきて、定着はしてございます。さらに来年の実施に向けては、ご意見を参考に、より実践的な訓練になるようにしていきたいと考えております。

以上でございます。

望月委員長

何かご質問、ご意見ございますか。

片山委員

片山委員。

一番下にある、市民からの意見にあるんですが、今、お話にもあったんですが、教職員が訓練に適していない服装等をしたということですが、こういう方たちへ何か指導とかはあったんですか。

教育総務課長

具体的に申しますと、服装というよりは、グラウンドで、ヒー

片山委員

ルのあるような靴を履いている先生がいたということで、当該校のほうにはその旨を連絡して、訓練に適した服装で、みだしなみというお話はさせていただいております。

望月委員長

こういう方が一人でもいると示しが見つからないような気がしますので、徹底していただいたほうがよろしいと思います。

教育総務課長

車で迎えに来ている保護者、これは幼稚園とかこども園のほうが多いのかなと思います。

例えば、渋谷地区ですと幼稚園児も小学生も中学生も、非常に離れています。先に行くのは中学校が多いですけれども、そんなことで、なかなか離れている。または、南地区のように、南小学校とみどりこども園となると、どうしても車でお迎えに来る方がおられるというような状況でございます。原則的には学校のほうでも車で来ないでくださいということは例年周知していただき、来年度も、先ほど言った一番最後に、駐車場や学校周辺の道路の見回りなどの実施を検討していくことにしております。

望月委員長

ほかにありますか。

—なし—

望月委員長

それでは、その他の案件は何かございますか。

教育指導課長

先ほど片山委員からご質問いただきました件について、確認させていただきました。参加人数は全部で108名ということで、一般市民の方が15名。

昨年度の内容は、「正しくこわがるインターネット」という内容で開催させていただきました。

片山委員

ありがとうございます。

望月委員長

今年はずっと集まります。

よろしいですか。

それでは、秘密会の前に次回の日程調整をお願いします。

—次回の日程調整—

望月委員長

ただいまから秘密会といたしますので、関係者以外の退席を求めます。

—関係者以外退席—

[削除]

望月委員長

以上で6月の定例教育委員会会議は終わります。